

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーカー学科		2年
科 目 名	ビジネス実務Ⅲ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小林 聖治
時 間 数	前期：34時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。		
そ の 他	各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。 人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。		
	前 期		
授 業 の 概 要	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指す。この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。 また、社会人としての心構えを身につける。		
到 達 目 標	①自ら即就職活動ができる。 ②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、早期出社ができるようにする。 ③漢字力・計算力を身に付け活用できる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2年
科 目 名	Office 実務	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期： 34 時間 / 後期： 時間		
科目の目的と講義内容	Microsoft の Office (Word、Excel) のパソコン実務操作スキルを身につけ、仕事の効率化・スピードアップをめざす。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Word、Excel を使い、ビジネス文書や資料の効率のよい作成の仕方を指導する。 <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率よく資料を作成するスキルを身につける。 		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	ビジネス文書や資料を作成するためのポイントや、作業手順を指導し、実践する。		
到 達 目 標	Word、Excel を使ったビジネス文書や資料を効率よく作成することができる。		
成 績 評 価 方 法	課題 (75%)、提出物(20%)、出欠席(5%)		
テキスト・副読本	<ul style="list-style-type: none"> ・ Office ソフトで作る文書ドリル ・ 実践ドリルで学ぶ Office 活用術 		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2年
科 目 名	Excel 応用	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期：53 時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Microsoft Office Specialist の Excel 2019 Expert 検定の全員取得をめざす。 Excel の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。		
目指す検定・資格	Microsoft Office Specialist Excel 2019 Expert		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Excel スキルの教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会での Excel の役割について理解すること。 ・Excel の利便性を理解すること。 		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックのオプションと設定の管理 ・ユーザー定義の表示形式やレイアウトの適用 ・高度な機能を使用した数式の作成 ・高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成 ・模擬試験 		
到 達 目 標	Microsoft Office Specialist Excel 2019 Expert		
成 績 評 価 方 法	期末試験(70%)、検定(20%)、提出物(5%)、出欠席(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	よくわかるマスター MOS Excel 2019 Expert 対策テキスト&問題集 改訂版		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	データ分析演習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小林 聖治
時 間 数	前期： 52 時間 / 後期：時間		
科目の目的と 講 義 内 容	Excel を使ったデータ分析の方法を行えるようになる。		
目指す検定・資格	ビジネス統計スペシャリスト エクセル分析ベーシック		
指 導 方 法 及 び 学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の考え方について理解すること。 ・実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。 		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なマーケティング ・データの扱い方 		
到 達 目 標	データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるようになる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験(80%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)、提出物(5%)		
テキスト・副読本	ビッグデータマーケティング教育推進協会 テキスト		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2年
科 目 名	社会調査	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 65時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>社会学の観点を学習し、データの収集方法を身に着ける。企業と連携し、アンケートを作成、調査、収集、分析という一連の流れを行うことにより、実社会で生きる力を身に着ける。</p> <p>企業に対する提案を作成し、評価をいただく。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>【指導方法】 企業からの課題を提示。提案、フィードバックの繰り返しで精度をあげる</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの統計分野の学習を応用する。 ・マーケティングの観点からも、情報を集める目的、分析結果の報告が認識できるようにする。 		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・統計学の知識の復習 ・企業と連携したアンケート作成、実施 ・アンケート結果の分析、評価 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・Excel を利用したデータ分析能力の取得 ・企業連携の評価 		
成 績 評 価 方 法	企業からの評価 (60%)、提出物 (35%)、出欠点 (5%)		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2年
科 目 名	統計概論	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 59 時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	日本統計学会が実施する、統計検定3級程度の知識の習得を目指す。 統計を学習していくことにより、データ分析の手法を身につけ、身近な問題に活かす力を身に付けさせる。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>【指導方法】</p> テキストを用いた授業、過去の3級問題テキストなどから学習する。 <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な問題に対してデータを通して正しく内容を理解すること、また情報を集めたのちにその目的、分析結果の報告が認識できるようにする。 		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・データを客観的に判断する ・統計に関する知識や活用力を習得する ・統計を用いて問題点を解決する知識を習得する 		
到 達 目 標	統計検定3級レベルの知識の習得する		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (50%)、確認テスト (35%)、提出物 (10%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門 統計検定3級 過去問題集 統計学の図鑑		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2年
科 目 名	ビジネス法務 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 後期 ・ 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期：32時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ビジネスに関連する最低限の法律の知識を理解していく。 「ビジネスパーソンとしての業務上理解しておくべき基礎的法律知識をする人材をめざし、習得していく。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを用いインプット講義、確認テストを用いアウトプットの練習を行う。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	①就職活動の際の留意点～労働法の基礎～ ②労働法 ③法人と会社		
到 達 目 標	ビジネスに関連する最低限の法律について理解することができる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験(75%)、各単元の確認テスト(15%)、提出物(5%)、出欠席(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	「改訂版 ゼロからスタート! 武山茂樹のビジネス実務法務検定試験1冊目の教科書」 武山 茂樹		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	プレゼンテーション実習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期：33時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	外部に向けたプレゼンテーションをグループで作成。 各自で役割を明確に意識する。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	相手に伝わるプレゼンテーション作成のために、考えて作ることができる。 前に立って話すという経験を重ね、人前に立つ抵抗感をなくす。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	プレゼンテーションの技術習得		
到 達 目 標	外部発表に向けたプレゼンテーション作成		
成 績 評 価 方 法	提出物 (60%)、実習に伴う相互評価 (30%)、出席点 (5%)、授業態度 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	図解&事例で学ぶプレゼンの教科書		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	ビジネスプランニングⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	山本 里志
時 間 数	前期：56 時間 / 後期：時間	実務経験：約 20 年間の流通小売業での経験を生かし財務分析・商品開発・市場分析・他社分析・販売計画の作成などの支援業務を授業に生かす。	
科目の目的と講義内容	ビジネスプランコンテストに向けたアイデアをまとめ、プレゼンテーションを作る。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <p>様々な事例を紹介しながら、学生のアイデアを引き出す</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想でアイデアを出す ・グループで一体となって、取り組む。 		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	ビジネスプランコンテストへの応募を通じて、アイデアの創出、相手にわかりやすく伝えるプレゼンテーションを行う。		
到 達 目 標	ビジネスプランコンテストへ向けて準備し、応募することができる。		
成 績 評 価 方 法	提出物 (90%)、出欠点 (5%)、授業態度 (5%)		
テキスト・副読本	ビジネスモデル 2.0 図鑑		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2 年
科 目 名	IT パスポート特講	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	(前期) ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 76 時間 / 後期： 時間		
科目の目的と講義内容	IT パスポート取得に向けた検定対策授業を行う。		
目指す検定・資格	IT パスポート試験		
指導方法及び学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <p>グループ内における演習、過去問題に取り組み、得点を向上させる。 Web サイトと電子媒体を活用し、学生の取り組みの効果を高める。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定取得に向けたモチベーションを保つ。 ・ 周囲と協力して取り組む姿勢を身に着ける。 		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ IT パスポート ストラテジ分野 ・ IT パスポート マネジメント分野 ・ IT パスポート テクノロジ分野 		
到 達 目 標	IT パスポート試験に合格する		
成 績 評 価 方 法	確認テスト (50%)、課題提出 (30%)、IT パスポート試験の得点 (20%)		
テキスト・副読本	よくわかるマスター IT パスポート試験対策テキスト&問題集		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	ビジネス実務IV	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小林 聖治
時 間 数	前期：時間 / 後期：30時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。		
そ の 他	各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。 人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。		
	後 期		
授 業 の 概 要	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなる上を目指す。 この知識と企業研究で得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。		
到 達 目 標	<p>①自ら即就職活動ができる。</p> <p>②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付けることができる。</p> <p>③漢字力・計算力を身に付け活用できる。</p>		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>テキスト：</p> <p>「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会</p>		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	Access 実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 時間 / 後期： 46時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Microsoft Office Specialist Access Expert 2019 検定の全員取得を目指す。 Access の機能を包括的に学習していくことにより、実践的な機能の活用がスムーズに行えるようにスキルと経験を身に付けさせる。		
目指す検定・資格	Microsoft Office Specialist Access Expert 2019		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	【指導方法】 テキストを用いた実践的授業、就職後に求められる Access スキルの教示。 【学生に期待すること】 ・ 実社会での Access の役割について理解すること。 ・ Excel と Access との違い、および、データベースの利便性を理解すること。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	・ データベースの作成と管理 ・ テーブルの作成 ・ クエリの作成 ・ フォームの作成 ・ レポートの作成		
到 達 目 標	・ Microsoft Office Specialist Access Expert 2019 の取得		
成 績 評 価 方 法	実技試験 (MOS Access Expert 2019) (20%)、期末試験 (70%)、出欠席 (5%)、提出物 (5%)		
テキスト・副読本	よくわかるマスター MOS Access Expert 2019 対策テキスト&問題集 改訂版		

令和6年度 シラバス

学科・学年	データマーケター 学科		2年
科目名	マーケティングⅢ	科目区分	一般科目・ 専門科目
開講期	前期・ 後期 ・通年	担当教員	鳴坂 圭介
時間数	前期：時間 / 後期：30時間		
科目の目的と講義内容	SNS マーケティングの基礎知識を習得し、SNS をビジネスに有効活用できるデジタル人材を育成する。		
目指す検定・資格	サーティファイ主催 SNS マーケティング検定		
指導方法及び学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、アクティブラーニングを通じた考え方の醸成。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそうなるのか、考えかたを理解する。 ・実社会での SNS マーケティングの知識の活用事例を理解すること。 		
その他			
	後 期		
授業の概要	企業が SNS を自社のマーケティング・ツールとして活用して行う全ての活動について、体系的に学ぶ。大きな目的としては「認知度拡大」「情報伝達のスピード化」「ブランディング効果」「顧客ロイヤルティ醸成」「顧客獲得単価改善」「費用対効果の改善」が挙げられる。実企業の事例も活用しながら、学生たちも実践を通じて学習していく。		
到達目標	SNS マーケティングの仕組みを理解し、企業内における SNS マーケティングの活用方法を理解することができる。		
成績評価方法	後期試験 (50%)、確認テスト (40%)、出欠点 (5%)、授業態度 (5%)		
テキスト・副読本	ベーシック・マーケティング 第2版		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2年
科 目 名	ビジネス法務Ⅱ	科 目 区 分	一般科目・専門科目
開 講 期	前期・後期 通年	担 当 教 員	森谷 郁恵
時 間 数	前期： 時間 / 後期： 28時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>ビジネスや日常生活においてますます必要とされる著作権について、著作権が何のためにあるのか、どんな種類の著作権があるのか、そもそも著作権はどんな仕組みなのかについて学んでいく。</p> <p>そして、なぜ私たちが著作権を尊重しなければならないのかを考えるきっかけにし、社会人として著作権を理解した上で実務に携わることができるようにする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを用い知識をインプットするために講義を実施する。さらに、検定の過去問題を用い、知識の定着を図る。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ①著作権の概要 ②著作物 ③著作者 ④著作者の権利 ⑤保護期間 ⑥著作権の譲渡と利用許諾 ⑦著作権の制限 ⑧著作隣接権 ⑨著作権の侵害 ⑩知的財産権制度 		
到 達 目 標	著作権の種類や、著作権法の目的について理解することができる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (90%)、提出物 (5%)、出席率 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	「ビジネス著作権検定」公式テキスト		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	データ分析演習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 時間 / 後期：30時間	実務経験：県内大手派遣会社にて、営業・人事担当として従事。採用における応募者傾向の分析から、社内データの傾向から採用方針を立案する。営業では、100社にわたるクライアントの傾向から効果的な提案活動を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	データマーケター育成に伴う、データの活用方法、POS データの分析手法について学習する。データから、情報をよみとり、提案内容を作成することができる。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	ビジネス統計スペシャリスト エクセル分析スペシャリスト		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>【指導方法】</p> <p>テキストを用いた実践的授業、データ分析に求められる考え方の教示。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データ分析の考え方について理解すること。 ・ 実社会での情報活用や問題解決の手法の必要性を理解する事。 		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なマーケティング ・ データの扱い方 		
到 達 目 標	データを分析し、その数値分析から売上を伸ばす提案ができるようになる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験(80%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)、提出物(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	Excel で学ぶ 実践ビジネスデータ分析		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	ビジネスプランニングⅢ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期：時間 / 後期：28 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	これまでのビジネスプラン（連携授業）にて取り組んできた事例を基に、今後内定先（就職希望先）で実現可能なビジネスアイデアを立案する。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>【指導方法】</p> <p>様々な事例を紹介しながら、学生のアイデアを引き出す</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由な発想でアイデアを出す ・ グループで一体となって、取り組む。 		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	就職先の企業について、事業内容を理解するとともに、発想力を高め、企業に貢献する方法を考える。		
到 達 目 標	・ アイデアの企画書作成、プレゼンテーション実施		
成 績 評 価 方 法	提出物（90%）、出欠点（5%）、授業態度（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ビジネスモデル2.0 図鑑		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター学科		2年
科 目 名	プレゼンテーション実習Ⅲ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 時間 / 後期：48時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	セミナー形式の発表を行える。発表対象人数が100名近くを想定したプレゼンテーションを行えるようにする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	大人数を想定した環境の中でプレゼンテーションを行う。 高度なテクニックを駆使して、プレゼンテーションを行う。 卒業研究で取り組んでいる内容を発表できる形を作る。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	プレゼンテーションの技術向上		
到 達 目 標	クラス内発表で一定レベル以上技術取得		
成 績 評 価 方 法	提出物 (60%)、実習に伴う相互評価 (30%)、出席点 (5%)、授業態度 (5%)		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーケター 学科		2年
科 目 名	卒業研究 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期：時間 / 後期：52 時間		
科目の目的と 講義内容	学科の集大成として、これまで学習してきた内容をもとに、研究・成果物作成を行う。		
目指す検定・資格			
指導方法及び 学生に期待すること	<p>【指導方法】</p> <p>テーマを与え、学生に考えさせる。レベルを維持するために、教員がチェックを行う。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <p>・問題意識をもって取り組む。</p>		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	岡山県内の企業において、SDGs に取り組んでいる企業を調べ、事例・成果についてレポートを作成する。		
到 達 目 標	研究レポートの提出		
成 績 評 価 方 法	提出物 (90%)、出欠点 (5%)、授業態度 (5%)		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	データマーカー学科			2年
科 目 名	卒業研究Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鳴坂 圭介	
時 間 数	前期：時間 / 後期：53時間			
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	課題に対するレポート作成 卒業研究発表会に向けて。グループ毎で研究を行い、成果を発表する			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>【指導方法】 テーマを与え、学生に考えさせる。レベルを維持するために、教員がチェックを行う。</p> <p>【学生に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題意識をもって取り組む。 ・やり切るという意識を持つ。 			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	卒業研究発表会に向けて、ビジネスプランの構築、プレゼンテーションの作成を行う。			
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・研究レポートの提出 ・プレゼンテーションの実施 			
成 績 評 価 方 法	提出物 (90%)、出欠点 (5%)、授業態度 (5%)			
テキスト・副読本				